

二神通信

校訓

自主 協力 責任

津久見市立第二中学校
学校通信 第 56 号
令和 2 年 1 月 31 日 (金)
文責 校長 阿部 幸士

本当に早いもので、今日で1月が終わります。
3年生の卒業の日まで、あと35日（登校する日は23日）になってしまいました。
1, 2年生の修了の日までは、あと55日（登校する日は36日）です。
目の前のやるべきことを、そして残された日々を大切にしていきたいと、心から強く思います。

《 市新人駅伝大会（1/29）に全力で挑みました 》



1月29日（水）の午前中に市新人駅伝大会が開催されました。天気は晴れでしたが、冷たい北風が吹きつけるコンディションの中、二中の代表として女子7名（2年5名、1年2名）が大会に挑みました。

結果は一中に次いで二位でした。走り終えた後、7名それぞれの胸の内には、悔しさや歯がゆさ、次への闘志などがふつふつとわき起こっていたようです。

応援する立場で、7名全員の走りを間近に見た私（阿部）は、この7名の選手たちは本当によく頑張ったと思います。立派だったと思います。以前の持ちタイムよりも遅くなり猛烈に悔しがった人もいます。確かにタイムは厳正な結果でしょう。でもそれは、この後挽回する機会があるのです。

私が立派だったと思う点は、この駅伝大会に自らの意志で出場することを決め、大会で二中の代表としての誇りをもって頑張って走った姿にあります。

日頃走っているわけではなく、準備期間もほとんどなく、人数もどんどん少なくなっている中で、「自分たちが代表で走ります」という気持ちを示してくれたこと。大会では、今の自分が持てる力を精一杯発揮しようとする姿を見せてくれたこと。そして何よりも、「自分は二中の代表なんだ」という気持ちをしっかりとって前を向いた走る姿を見せてくれたことが、本当に素晴らしかったと思います。

「自分の意志で決めたことに、誇りを持って精一杯の力で挑んでいく」という気持ちと姿勢を、これからも大切にしていってほしいと思います。その気持ちと姿勢があれば、必ず次の機会には、今回よりステップアップした自分たちをつかみとることができるに違いありません。

《 1/30には、3年生が私立高等学校入学試験に挑みました 》



1月30日（木）には私立高等学校の一般入学試験が実施されました。3年生の、自分たちの次のステージをつかみ取るための勝負の場でした。一人一人の引き締まった気持ちが伝わってきました。

《 1年前に、自分が進みたいステージをしっかりとつかみ取った先輩たちは頑張っていました 》



1月28日（火）に津久見高校の研究成果発表会が開催されました。1年前は二中生だった先輩たちが、ステージの上で堂々と自分の思いや考えを発表していました。先輩たちも頑張っていました。